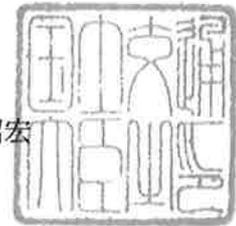


# 認定書

国住指第 495 号  
平成 27 年 7 月 8 日

旭化成建材株式会社  
代表取締役社長 前田 富弘 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第八号並びに同法施行令第 108 条第一号及び第二号（外壁（耐力壁）：各 30 分間）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
PC030BE-3504(9)
2. 認定をした構造方法等の名称  
フェノールフォーム保温板充てん／窯業系サイディング・フェノールフォーム保温板・セメント板表張／せっこうボード裏張／木製軸組造外壁
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 構造名

(9) フェノールフォーム保温板充てん/窯業系サイディング・フェノールフォーム保温板・セメント板表張/せっこうボード裏張/木製軸組造外壁

2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項目	仕様
壁高	構造計算等によって構造安全性が確かめられた寸法
壁厚	129 以上
壁の構造	真壁又は大壁

3. 材料構成

(1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項目	仕様
柱(荷重支持部材)	材料：(1)～(4)のうち、いずれか一仕様 (1)平成12年建設省告示第1452号に規定する構造用製材(JAS) (2)平成13年国土交通省告示第1024号に規定する構造用集成材(JAS) (3)平成13年国土交通省告示第1024号に規定する単板積層材(JAS) (4)平成12年建設省告示第1452号に規定する無等級材 ・断面寸法：105×105 以上 ・間隔：4000 以下 ・比重：0.35(±0.04)以上 ・欠き込み寸法(真壁仕様で、柱に内装材固定用の欠き込みを設ける場合) 欠き込み深さ：10～24 欠き込み幅：内装材厚さ+3 以下

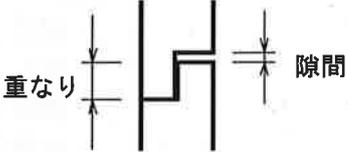
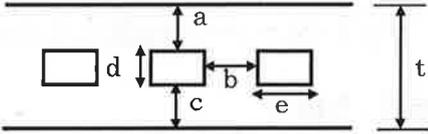
つづく

つづき

項 目	仕 様																													
間柱	材料：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様 (1)製材 (2)集成材 (3)単板積層材 ・断面寸法：27×60以上 ・間隔：500以下																													
外装材	<p>[1]基材</p> <p>窯業系サイディング（以下「サイディング」という。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>規格：JIS A 5422</li> <li>組成（質量%）           <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">{</td> <td>けい酸カルシウム化合物</td> <td style="text-align: right;">65～86</td> </tr> <tr> <td></td> <td>有機質繊維</td> <td style="text-align: right;">1～13</td> </tr> <tr> <td></td> <td>無機質繊維</td> <td style="text-align: right;">0～4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>有機質混和材</td> <td style="text-align: right;">14 未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>無機質混和材</td> <td style="text-align: right;">27 未満</td> </tr> </table> </li> </ul> <p>ただし、有機質繊維と有機質混和材の合計が 18 質量%を超えないこと。</p> <p>※サイディングに使用されている繊維質原料と混和材の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●繊維質原料           <ul style="list-style-type: none"> <li>有機質：セルロース繊維、ポリビニルアルコール繊維、ポリプロピレン繊維等</li> <li>無機質：ガラス繊維、ロックウール繊維等</li> </ul> </li> <li>●混和材           <ul style="list-style-type: none"> <li>有機質：リグニン、メチルセルロース、撥水剤等</li> <li>無機質：パーライト、炭酸カルシウム、マイカ等</li> </ul> </li> </ul> <p>[2]表面塗装</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>種類：(1)～(6)のうち、いずれか一仕様           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) アクリルウレタン樹脂系塗装</li> <li>(2) アクリル樹脂系塗装</li> <li>(3) アクリルシリコン樹脂系塗装</li> <li>(4) フッ素樹脂系塗装</li> <li>(5) エポキシ樹脂系塗装</li> <li>(6) 無機質系塗装</li> </ol> </li> <li>塗布量：200g/m<sup>2</sup>以下（有機固形分）</li> </ul> <p>[3]かさ比重 1.1(±0.2)（絶乾）</p> <p>[4]形状 (1) 寸法</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">厚 さ</th> <th colspan="2">幅</th> <th colspan="2">長 さ</th> </tr> <tr> <th>最 小</th> <th>最 大</th> <th>最 小</th> <th>最 大</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15～26</td> <td>303</td> <td>455</td> <td>910</td> <td>3640</td> </tr> </tbody> </table>	{	けい酸カルシウム化合物	65～86		有機質繊維	1～13		無機質繊維	0～4		有機質混和材	14 未満		無機質混和材	27 未満	厚 さ	幅		長 さ		最 小	最 大	最 小	最 大	15～26	303	455	910	3640
{	けい酸カルシウム化合物	65～86																												
	有機質繊維	1～13																												
	無機質繊維	0～4																												
	有機質混和材	14 未満																												
	無機質混和材	27 未満																												
厚 さ	幅		長 さ																											
	最 小	最 大	最 小	最 大																										
15～26	303	455	910	3640																										

つづく

つづき

項 目	仕 様																										
外装材 (つづき)	<p>(2) 端部形状 サイディング相互の重なりと隙間</p> <table border="1" data-bbox="496 349 1058 432"> <thead> <tr> <th>厚 さ</th> <th>重なり</th> <th>隙 間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15~26</td> <td>6以上</td> <td>3以下</td> </tr> </tbody> </table>  <p>(3) 断面形状</p> <table border="1" data-bbox="496 533 1444 757"> <thead> <tr> <th>厚 さ</th> <th>模様深さ</th> <th>容積欠損率 (%)</th> <th>※中空率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15~26</td> <td>最小厚さ11以上を確保</td> <td>11以下 (ただし、板厚15を超える場合は裏面から15の位置での欠損率とする。)</td> <td>34以下 (ただし、板厚18を超える場合は厚さを増した分だけ、dの中空部の高さを増し中空率をあげることができる。)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※中空の形状</p>  <table border="1" data-bbox="520 1021 1441 1099"> <thead> <tr> <th>厚さ t</th> <th>a</th> <th>b</th> <th>c</th> <th>d</th> <th>e</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18以上</td> <td>5以上</td> <td>3.5以上</td> <td>4以上</td> <td>t-(a+c)</td> <td>t以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、厚さ 18 を超える場合、厚さを増した分だけ d の長さを増すことができる。</p> <p>[5] 張方 横張</p> <p>[6] 留め方 金具留め (外装材留金具による。)</p>	厚 さ	重なり	隙 間	15~26	6以上	3以下	厚 さ	模様深さ	容積欠損率 (%)	※中空率 (%)	15~26	最小厚さ11以上を確保	11以下 (ただし、板厚15を超える場合は裏面から15の位置での欠損率とする。)	34以下 (ただし、板厚18を超える場合は厚さを増した分だけ、dの中空部の高さを増し中空率をあげることができる。)	厚さ t	a	b	c	d	e	18以上	5以上	3.5以上	4以上	t-(a+c)	t以下
厚 さ	重なり	隙 間																									
15~26	6以上	3以下																									
厚 さ	模様深さ	容積欠損率 (%)	※中空率 (%)																								
15~26	最小厚さ11以上を確保	11以下 (ただし、板厚15を超える場合は裏面から15の位置での欠損率とする。)	34以下 (ただし、板厚18を超える場合は厚さを増した分だけ、dの中空部の高さを増し中空率をあげることができる。)																								
厚さ t	a	b	c	d	e																						
18以上	5以上	3.5以上	4以上	t-(a+c)	t以下																						
構造用面材	<p>材料：セメント板 (1)~(7)のうち、いずれか一仕様</p> <p>(1) 繊維強化セメント板 (JIS A 5430) ・厚さ：9 以上</p> <p>(2) 木質系セメント板 (木毛セメント板、木片セメント板) (JIS A 5404) ・厚さ：9 以上</p> <p>(3) パルプセメント板 (JIS A 5414) ・厚さ：9 以上</p> <p>(4) パルプけい酸質混入セメント板 (国土交通大臣認定準不燃材料 QM-0457) ・厚さ：9 以上</p> <p>(5) 繊維強化セメント板 (国土交通大臣認定不燃材料 NM-8576) ・厚さ：9 以上</p> <p>(6) パルプ混入けい酸カルシウム板 (国土交通大臣認定不燃材料 NM-2601) ・厚さ：9 以上</p> <p>(7) 繊維混入スラグせっこう板 (国土交通大臣認定不燃材料 NM-0834) ・厚さ：9 以上</p>																										

つづく

つづき

項 目	仕 様
<p>充てん用断熱材</p>	<p>材料：フェノールフォーム保温板(JIS A 9511)又はフェノールフォーム断熱材(JIS A 9521)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形状：平板</li> <li>・厚さ：25(±2)以上(ただし、柱断面寸法以下)</li> <li>・密度(基材)：24(±3)～45(±5) kg/m<sup>3</sup></li> <li>・面材(基材の両面に設置)：(1)～(6)のうち、いずれか一仕様               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)ポリエステル系不織布                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位面積重量：10～60g/m<sup>2</sup></li> </ul> </li> <li>(2)ポリプロピレン系不織布                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位面積重量：10～60g/m<sup>2</sup></li> </ul> </li> <li>(3)ポリエチレン加工紙                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位面積重量：10～60g/m<sup>2</sup></li> </ul> </li> <li>(4)はり合せアルミニウムはく</li> <li>(5)無機系の加工紙(けい酸マグネシウム紙、ガラス繊維紙、アルミニウムはく・ガラス繊維複合紙)</li> <li>(6)なし</li> </ol> </li> </ul>
<p>外張付加断熱材</p>	<p>材料：フェノールフォーム保温板(JIS A 9511)又はフェノールフォーム断熱材(JIS A 9521)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形状：平板</li> <li>・厚さ：12(±2)～210(±8)</li> <li>・密度(基材)：24(±3)～45(±5) kg/m<sup>3</sup></li> <li>・面材(基材の両面に設置)：(1)～(6)のうち、いずれか一仕様               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)ポリエステル系不織布                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位面積重量：10～60g/m<sup>2</sup></li> </ul> </li> <li>(2)ポリプロピレン系不織布                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位面積重量：10～60g/m<sup>2</sup></li> </ul> </li> <li>(3)ポリエチレン加工紙                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位面積重量：10～60g/m<sup>2</sup></li> </ul> </li> <li>(4)はり合せアルミニウムはく</li> <li>(5)無機系の加工紙(けい酸マグネシウム紙、ガラス繊維紙、アルミニウムはく・ガラス繊維複合紙)</li> <li>(6)なし</li> </ol> </li> </ul>
<p>内装材</p>	<p>材料：(1)又は(2)のいずれか一仕様</p> <p>(1)せっこうボード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格：JIS A 6901 GB-R</li> <li>・厚さ：9.5以上</li> </ul> <p>(2)強化せっこうボード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格：JIS A 6901 GB-F</li> <li>・厚さ：12.5以上</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・端部形状：1)～3)のうち、いずれか一仕様               <ol style="list-style-type: none"> <li>1)スクエア</li> <li>2)テーパ</li> <li>3)ベベル</li> </ol> </li> </ul>

## (2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
通気胴縁	材料：(1)～(4)のうち、いずれか一仕様 (1)製材 (2)合板 (3)集成材 (4)単板積層材 ・断面寸法：厚さ9～40、幅30以上(柱部は幅30以上2枚又は幅60以上1枚。1枚とする場合は、留付材の留付間隔ごとに留付本数を2本以上とする。) ・間隔：500以下
防水紙	材料：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様 (1)アスファルトフェルト ・規格：JIS A 6005 ・単位面積質量の呼び：430以下 (2)透湿防水シート ・規格：JIS A 6111 ・厚さ：0.2以下 ・材質：1)～3)のうち、いずれか一仕様 1)ポリエチレン系 2)ポリエステル系 3)ポリプロピレン系 ・表面アルミニウム蒸着仕上げ：1)又は2)のいずれか一仕様 1)あり 2)なし (3)なし
防湿気密フィルム	材料：(1)～(4)のうち、いずれか一仕様 (1)住宅用プラスチック系防湿フィルム ・規格：JIS A 6930 ・厚さ：0.2以下 (2)包装用ポリエチレンフィルム ・規格：JIS Z 1702 ・厚さ：0.2以下 (3)農業用ポリエチレンフィルム ・規格：JIS K 6781 ・厚さ：0.2以下 (4)なし
補助棧 (外張付加断熱材の厚さが105を超える場合設置：105以下は必要に応じて設置)	材料：(1)～(4)のうち、いずれか一仕様 (1)製材 (2)合板 (3)集成材 (4)単板積層材 ・断面寸法：15×30以上 ・間隔：500以下
内装受材(真壁仕様で、柱に内装材固定用の欠き込みを設けない場合)	材料：(1)～(4)のうち、いずれか一仕様 (1)製材 (2)合板 (3)集成材 (4)単板積層材 ・断面寸法：15×15以上 ・間隔：4000以下

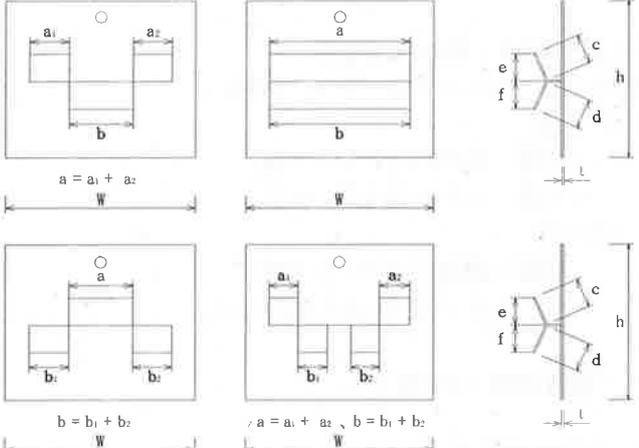
つづく

つづき

項 目	仕 様
外装目地材	<p>材料：(1)、(3)、(4)、(1)と(2)の併用、(1)と(3)の併用又は(5)のうち、いずれか一仕様</p> <p>(1)シーリング材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質：1)～6)のうち、いずれか一仕様</li> <li>1)ポリウレタン系樹脂</li> <li>2)アクリルウレタン系樹脂</li> <li>3)ポリサルファイド系樹脂</li> <li>4)変成ポリサルファイド系樹脂</li> <li>5)シリコーン系樹脂</li> <li>6)変成シリコーン系樹脂</li> <li>・使用量：56g/m 以上</li> </ul> <p>(2)バックアップ材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質：1)～5)のうち、いずれか一仕様</li> <li>1)ポリエチレン系樹脂</li> <li>2)ポリスチレン系樹脂</li> <li>3)ポリウレタン系樹脂</li> <li>4)ポリプロピレン系樹脂</li> <li>5)塩化ビニル系樹脂</li> <li>・使用量：2g/m 以上</li> </ul> <p>(3)ハット形ジョイナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質：1)～10)のうち、いずれか一仕様</li> <li>1)熔融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302)</li> <li>2)塗装熔融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)</li> <li>3)熔融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3317)</li> <li>4)塗装熔融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318)</li> <li>5)熔融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321)</li> <li>6)塗装熔融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)</li> <li>7)ポリ塩化ビニル被覆金属板(JIS K 6744)</li> <li>8)熱間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4304)</li> <li>9)冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305)</li> <li>10)熔融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (指定建築材料国土交通省大臣認定第 MSTL-0064 号, 0065 号, 0070 号)</li> <li>・厚さ：0.25 以上</li> </ul> <p>(4)金属ジョイナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質：(3)の 1)～10)のうち、いずれか一仕様</li> <li>・形状：ハット形、H形</li> <li>・厚さ：0.25 以上</li> </ul> <p>(5)なし</p>
内装目地材	<p>材料：(1)、(2)又は(2)と(3)の併用のうち、いずれか一仕様</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)せっこうボード用目地処理材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用量：100g/m 以上</li> </ul> <p>(3)ジョイントテープ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質：ガラスファイバーテープ</li> <li>・寸法：幅 50、厚さ 0.15～0.20</li> </ul>

つづく

つづき

項 目	仕 様
留付材	<p>[1]外装材留金具</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>材質：(1)～(10)のうち、いずれか一仕様             <ol style="list-style-type: none"> <li>溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302)</li> <li>塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)</li> <li>溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3317)</li> <li>塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318)</li> <li>溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321)</li> <li>塗装溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)</li> <li>ポリ塩化ビニル被覆金属板(JIS K 6744)</li> <li>熱間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4304)</li> <li>冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305)</li> <li>溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (指定建築材料国土交通省大臣認定第 MSTL-0064 号, 0065 号, 0069 号, 0070 号)</li> </ol> </li> <li>形状：             <div style="text-align: center;">  <p>The drawings illustrate the fastener's geometry. Top views show two configurations: one with a single upper tab of width 'a' and two lower tabs of width 'b', and another with two upper tabs of widths 'a1' and 'a2' and two lower tabs of widths 'b1' and 'b2'. Side views show the height 'h' and thickness 't'. Detail views show the hook heights 'e' and 'f' for the upper and lower tabs respectively.</p> </div> </li> </ul> <p>w : 幅 40 以上  h : 高さ 40 以上  w + h : 幅と高さの合計 90 以上  t : 鋼板の厚さ 0.8 以上  a : 上部ツメの幅 15.8 以上  b : 下部ツメの幅 14.0 以上  c : 上部ツメの長さ 4.2 以上  d : 下部ツメの長さ 4.6 以上  e : 上部ツメの掛かり高さ 4.0 以上  f : 下部ツメの掛かり高さ 4.2 以上  上部と下部のツメの総掛かり面積 175mm<sup>2</sup>以上[(a × e) + (b × f)]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>留付間隔：横方向 500 以下  高さ方向 外装材の幅による</li> </ul>

つづく

つづき

項 目	仕 様
留付材 (つづき)	<p>[2]外装材留金具固定用 材料：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様</p> <p>(1)スクリークぎ ・材質：鉄又はステンレス鋼 ・寸法：φ1.9以上×L32以上</p> <p>(2)リングくぎ ・材質：鉄又はステンレス鋼 ・寸法：φ1.9以上×L32以上</p> <p>(3)タッピンねじ ・材質：鋼又はステンレス鋼 ・呼び寸法：φ3.0以上×L25以上</p> <p>・留付間隔：500以下</p> <p>[3]通気胴縁・補助棧固定用 材料：(1)又は(2)のいずれか一仕様</p> <p>(1)くぎ ・材質：鉄又はステンレス鋼 ・寸法：φ2.45以上×L45以上</p> <p>(2)ビス ・材質：鋼又はステンレス鋼 ・呼び寸法：φ3.0以上×L38以上</p> <p>・留付間隔：500以下</p> <p>[4]内装材固定用 材料：(1)又は(2)のいずれか一仕様</p> <p>(1)くぎ ・材質：鉄又はステンレス鋼 ・寸法：φ1.9以上×L32以上</p> <p>(2)ビス ・材質：鋼又はステンレス鋼 ・呼び寸法：φ3.0以上×L25以上</p> <p>・留付間隔：200以下</p> <p>[5]構造用面材・内装受材固定用 材料：(1)又は(2)のいずれか一仕様</p> <p>(1)くぎ ・材質：鉄又はステンレス鋼 ・寸法：φ2.15以上×L38以上</p> <p>(2)ビス ・材質：鋼又はステンレス鋼 ・呼び寸法：φ3.0以上×L25以上</p> <p>・留付間隔：500以下</p>

つづく

つづき

項 目	仕 様
留付材 (つづき)	<p>[6]断熱材固定用            材料：(1)～(7)のうち、いずれか一仕様</p> <p>(1)くぎ            ・材質：鉄又はステンレス鋼            ・寸法：φ1.9以上×L32以上</p> <p>(2) (片面・両面) 粘着層付きテープ            ・材質：(1)～(7)のうち、いずれか一仕様            1) ブチルゴム系            2) EPDM ゴム系            3) アクリル系            4) ポリエステル系            5) アスファルト系            6) ポリエチレン系            7) ポリプロピレン系            ・使用量：1)～4) 420g/m<sup>2</sup>以下            5)～7) 280g/m<sup>2</sup>以下</p> <p>(3) アルミニウムはく・粘着層付きテープ            ・材質：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様            1) ポリエステル系            2) ポリエチレン系            3) ポリプロピレン系            ・使用量：1) 420g/m<sup>2</sup>以下            2)～3) 280g/m<sup>2</sup>以下</p> <p>(4) スプレーのり            ・材質：合成ゴム系樹脂            ・使用量：100g/m<sup>2</sup>以下</p> <p>(5) 接着剤            ・材質：(1)～(8)のうち、いずれか一仕様            1) エポキシ系樹脂            2) 酢酸ビニル系樹脂            3) ゴム系            4) アクリルウレタン系樹脂            5) ポリウレタン系樹脂            6) 変成シリコーン系樹脂            7) EVA 系樹脂            8) クラタック系樹脂            ・使用量：400g/m<sup>2</sup>以下</p> <p>(6) ステープル            ・材質：鉄又はステンレス鋼            ・寸法：肩幅9.6以上、足長10以上</p> <p>(7) なし</p>

つづく

つづき

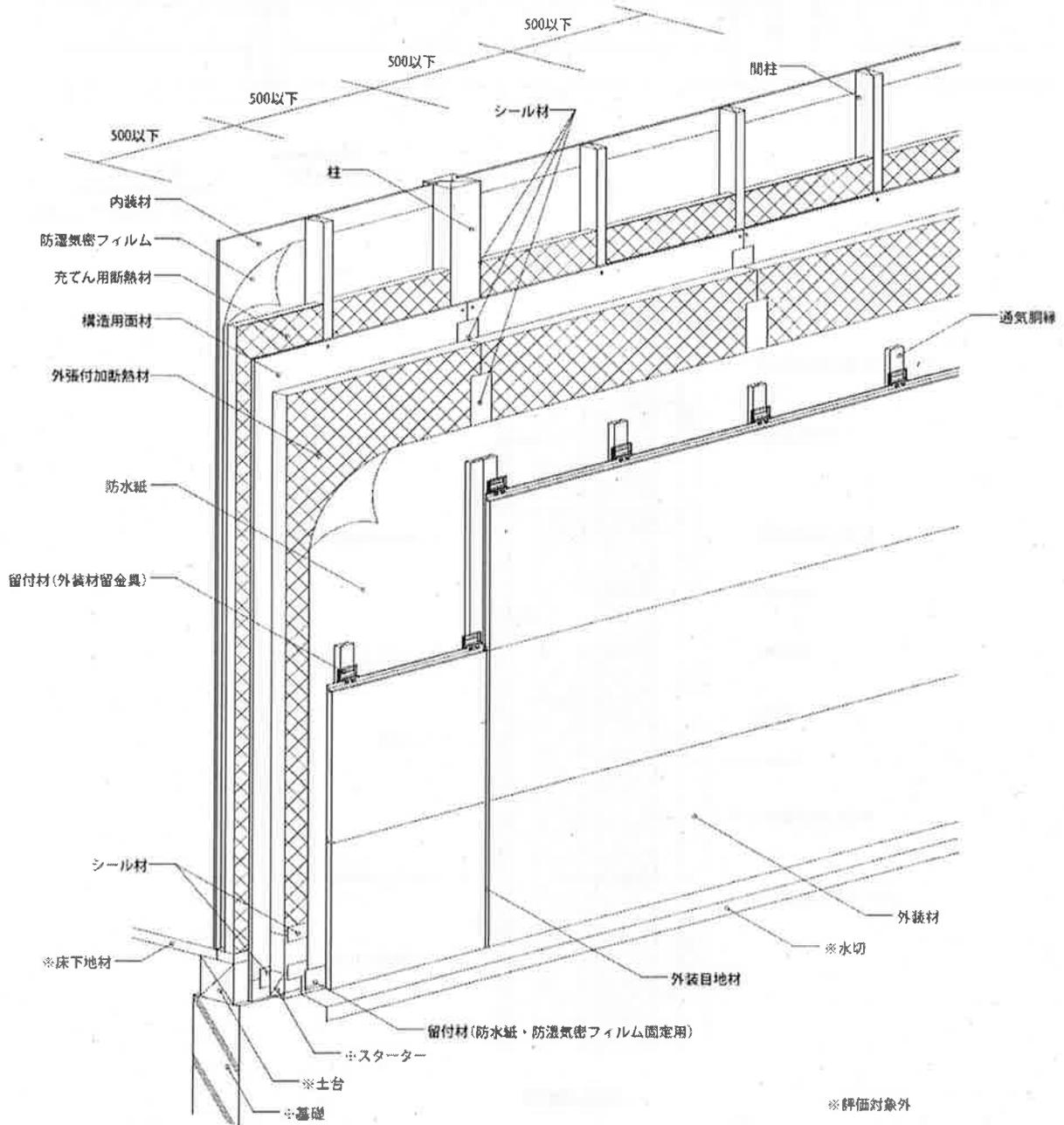
項 目	仕 様
留付材 (つづき)	<p>[7]防水紙・防湿気密フィルム固定用 材料：(1)～(5)のうち、いずれか一仕様</p> <p>(1)ステープル ・材質：鉄又はステンレス鋼 ・寸法：肩幅9.6以上、足長10以上</p> <p>(2) (片面・両面) 粘着層付きテープ ・材質：1)～7)のうち、いずれか一仕様 1)ブチルゴム系 2)EPDM ゴム系 3)アクリル系 4)ポリエステル系 5)アスファルト系 6)ポリエチレン系 7)ポリプロピレン系 ・使用量：1)～4) 220g/m<sup>2</sup>以下 5)～7) 150g/m<sup>2</sup>以下</p> <p>(3)アルミニウムはく・粘着層付きテープ ・材質：1)～3)のうち、いずれか一仕様 1)ポリエステル系 2)ポリエチレン系 3)ポリプロピレン系 ・使用量：1) 220g/m<sup>2</sup>以下 2)～3) 150g/m<sup>2</sup>以下</p> <p>(4)スプレーのり ・材質：合成ゴム系樹脂 ・使用量：100g/m<sup>2</sup>以下</p> <p>(5)なし</p>
シール材	<p>材料：(1)～(4)のうち、いずれか一仕様</p> <p>(1) (片面・両面) 粘着層付きテープ ・材質：1)～7)のうち、いずれか一仕様 1)ブチルゴム系 2)EPDM ゴム系 3)アクリル系 4)ポリエステル系 5)アスファルト系 6)ポリエチレン系 7)ポリプロピレン系 ・使用量：1)～4) 120g/m<sup>2</sup>以下 5)～7) 80g/m<sup>2</sup>以下</p> <p>(2) アルミニウムはく・粘着層付きテープ ・材質：1)～3)のうち、いずれか一仕様 1)ポリエステル系 2)ポリエチレン系 3)ポリプロピレン系 ・使用量：1) 120g/m<sup>2</sup>以下 2)～3) 80g/m<sup>2</sup>以下</p> <p>(3)シール材 ・材質：1)～6)のうち、いずれか一仕様 1)ポリウレタン系樹脂 2)アクリルウレタン系樹脂 3)ポリサルファイド系樹脂 4)変成ポリサルファイド系樹脂 5)シリコーン系樹脂 6)変成シリコーン系樹脂 ・使用量：100g/m<sup>2</sup>以下</p> <p>(4)なし</p>

4. 構造説明図

図 1～8 に構造説明図を示す。

(1) 構造用面材：あり、内装材：真壁(切欠き仕様)、断熱材：充てん+外張付加

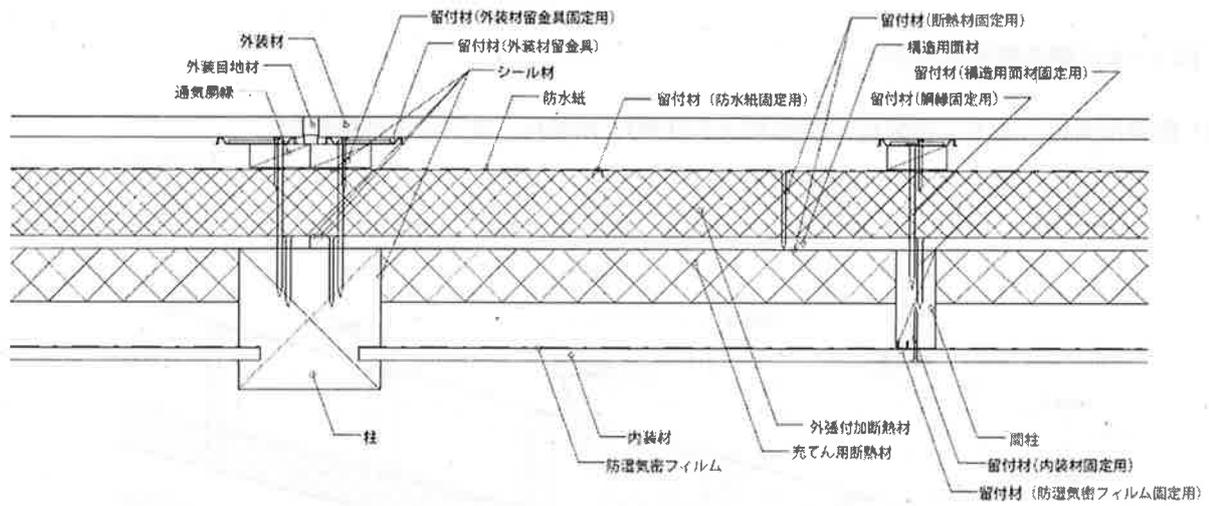
(寸法単位：mm)



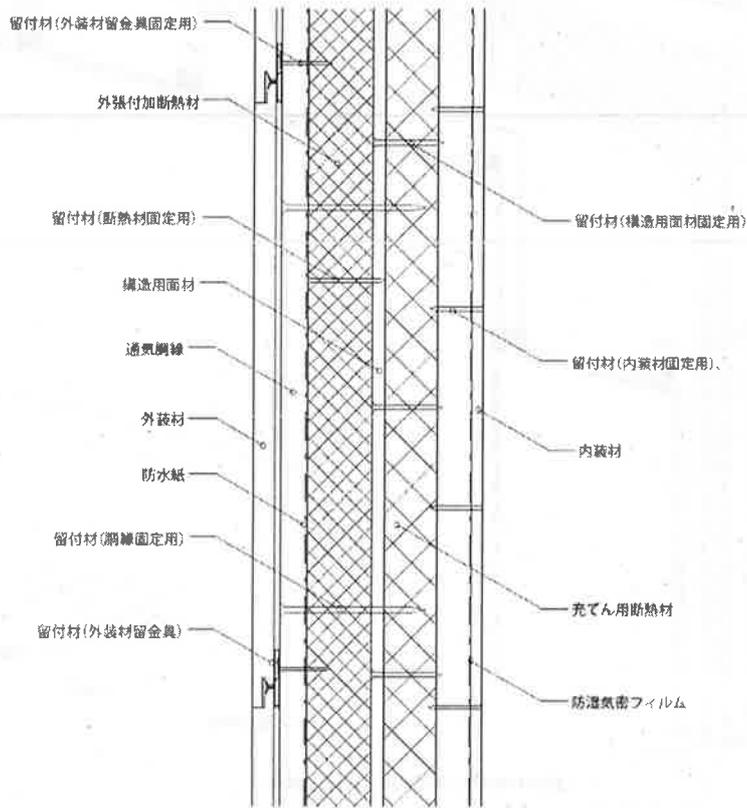
透視図

図 1 構造説明図

(別添-11)



水平断面図



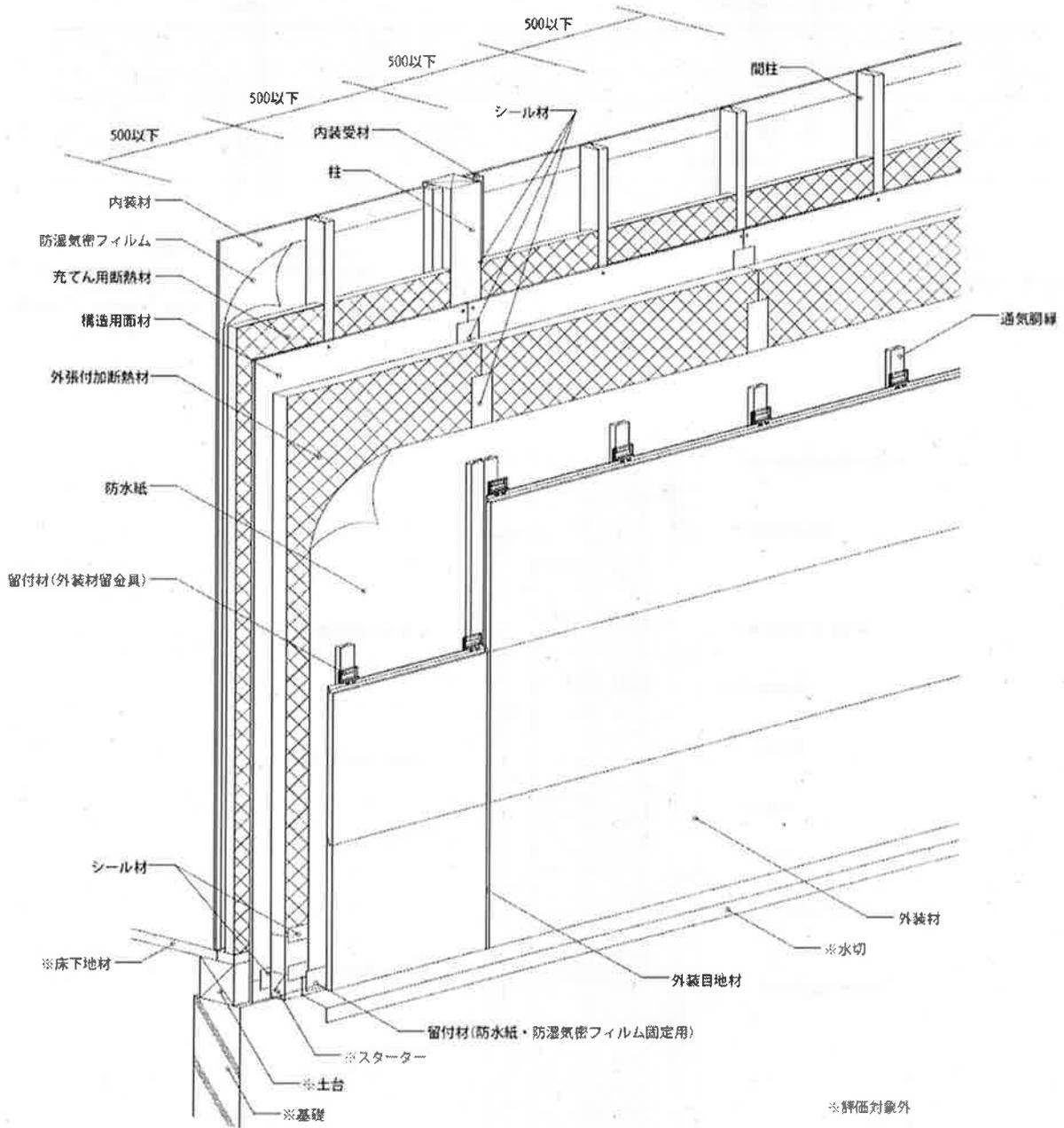
鉛直断面図

図 2 構造説明図

(別添-12)

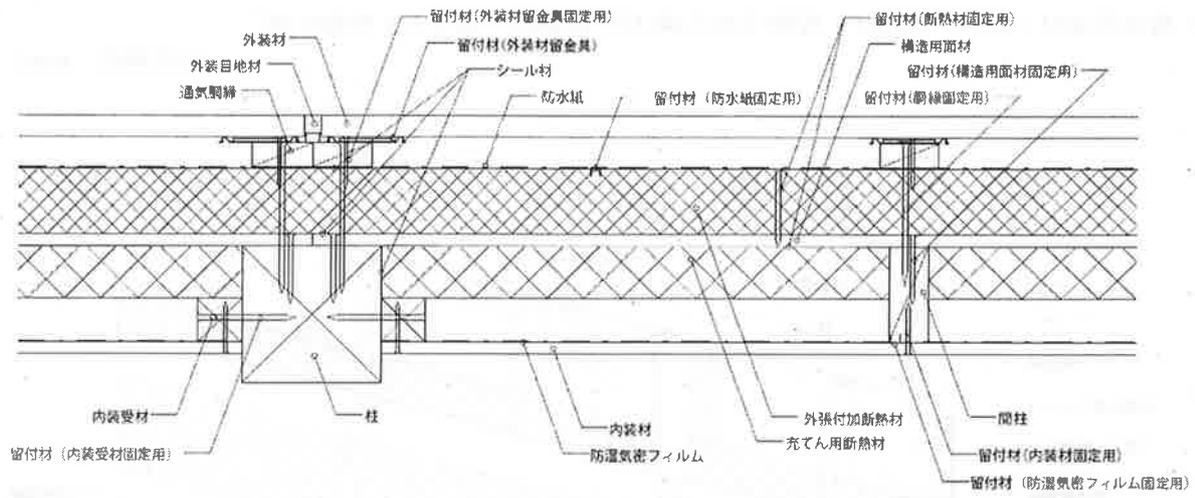
(2) 構造用面材：あり、内装材：真壁(受材仕様(1))、断熱材：充てん+外張付加

(寸法単位：mm)

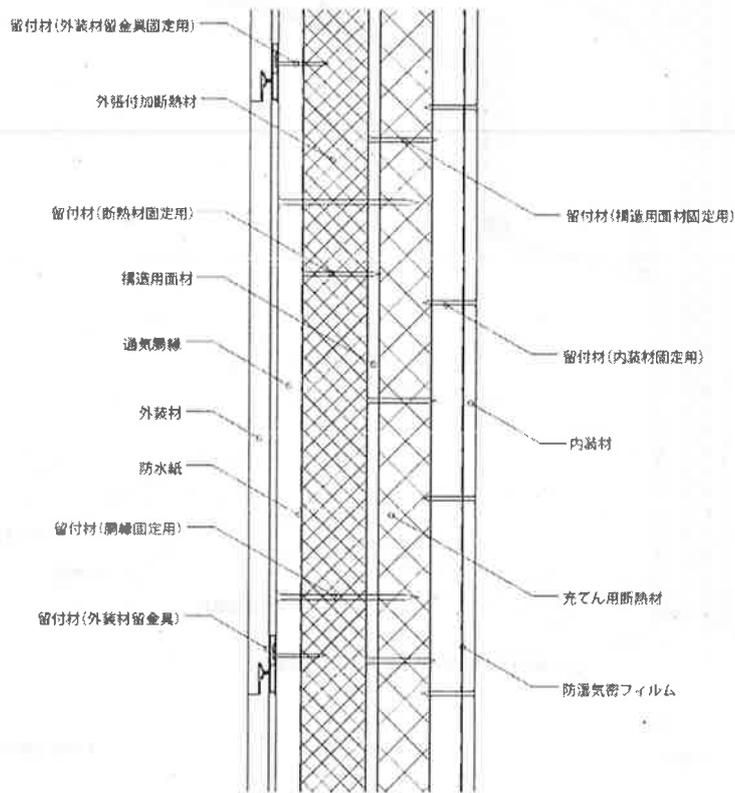


透視図

図3 構造説明図



水平断面図

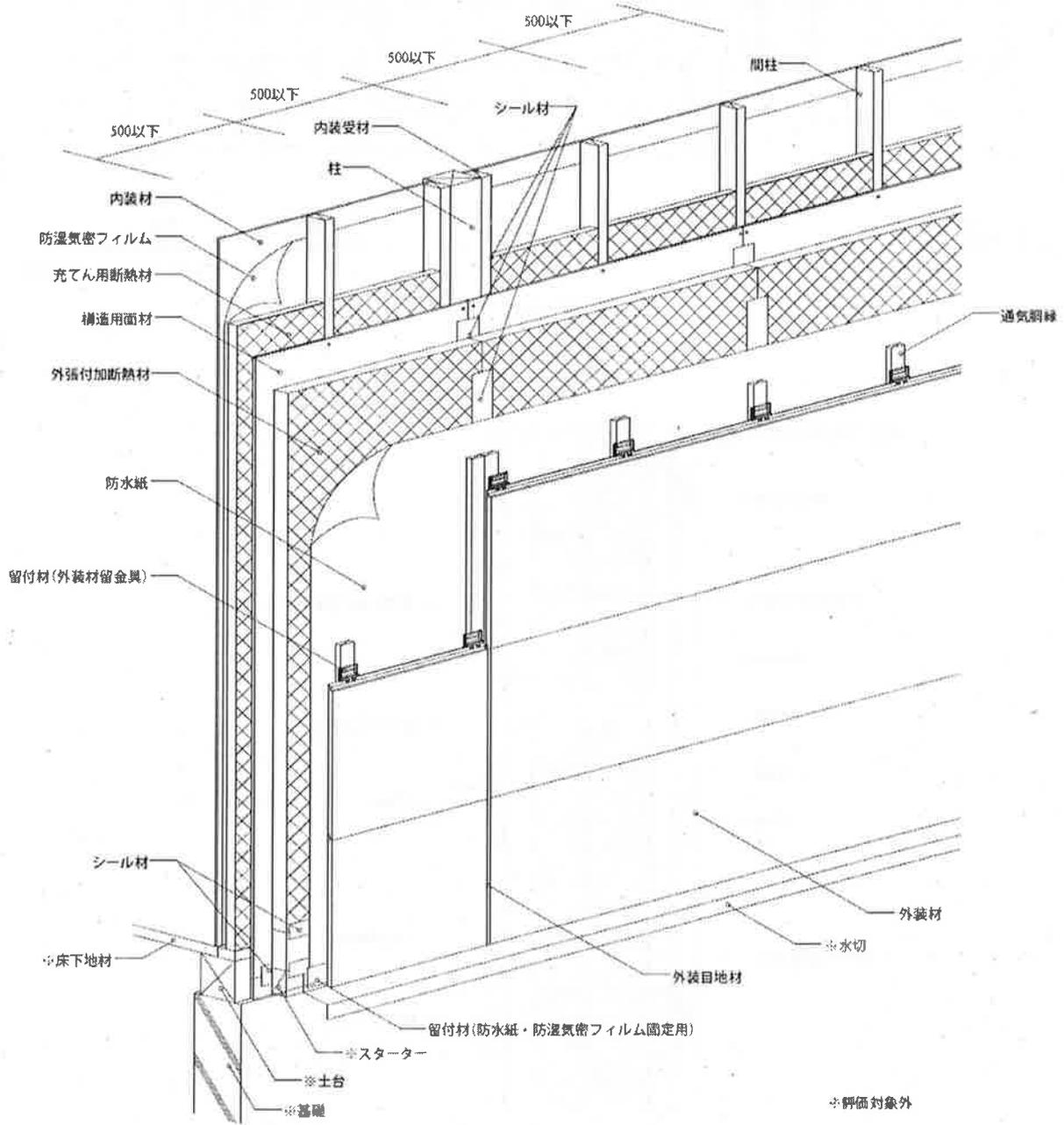


鉛直断面図

図4 構造説明図

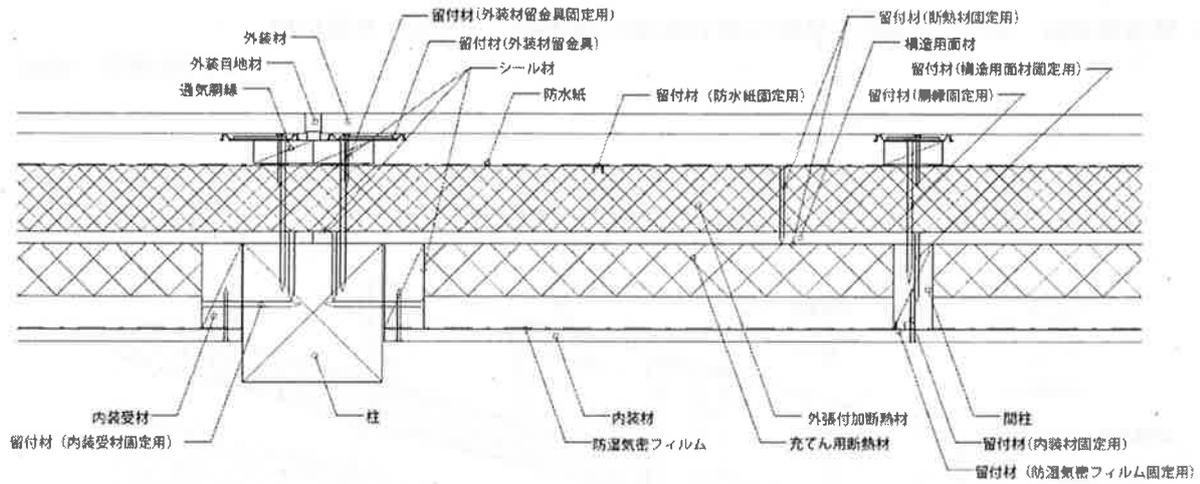
(3) 構造用面材：あり、内装材：真壁(受材仕様(2))、断熱材：充てん+外張付加

(寸法単位：mm)

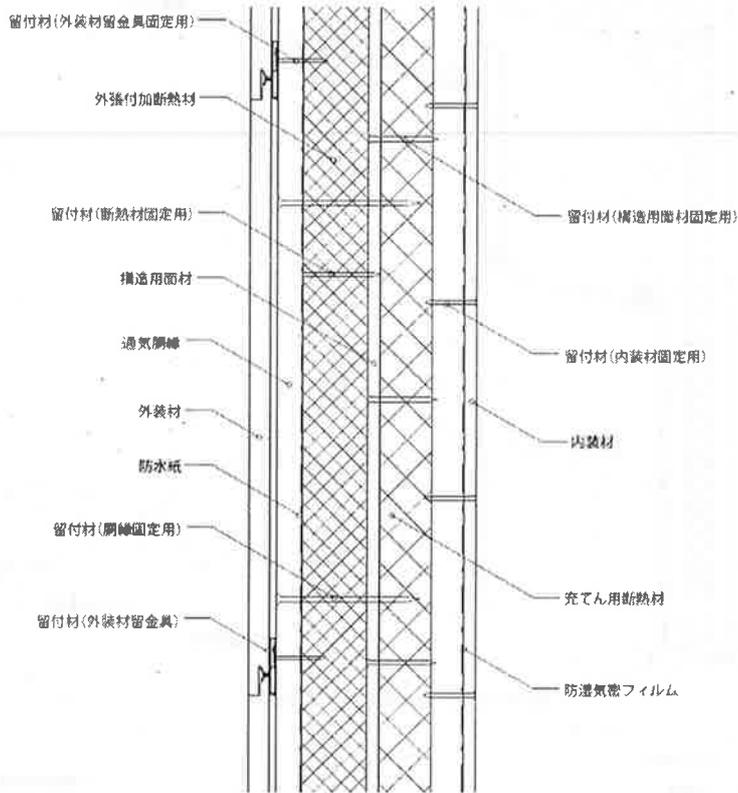


透視図

図5 構造説明図



水平断面図

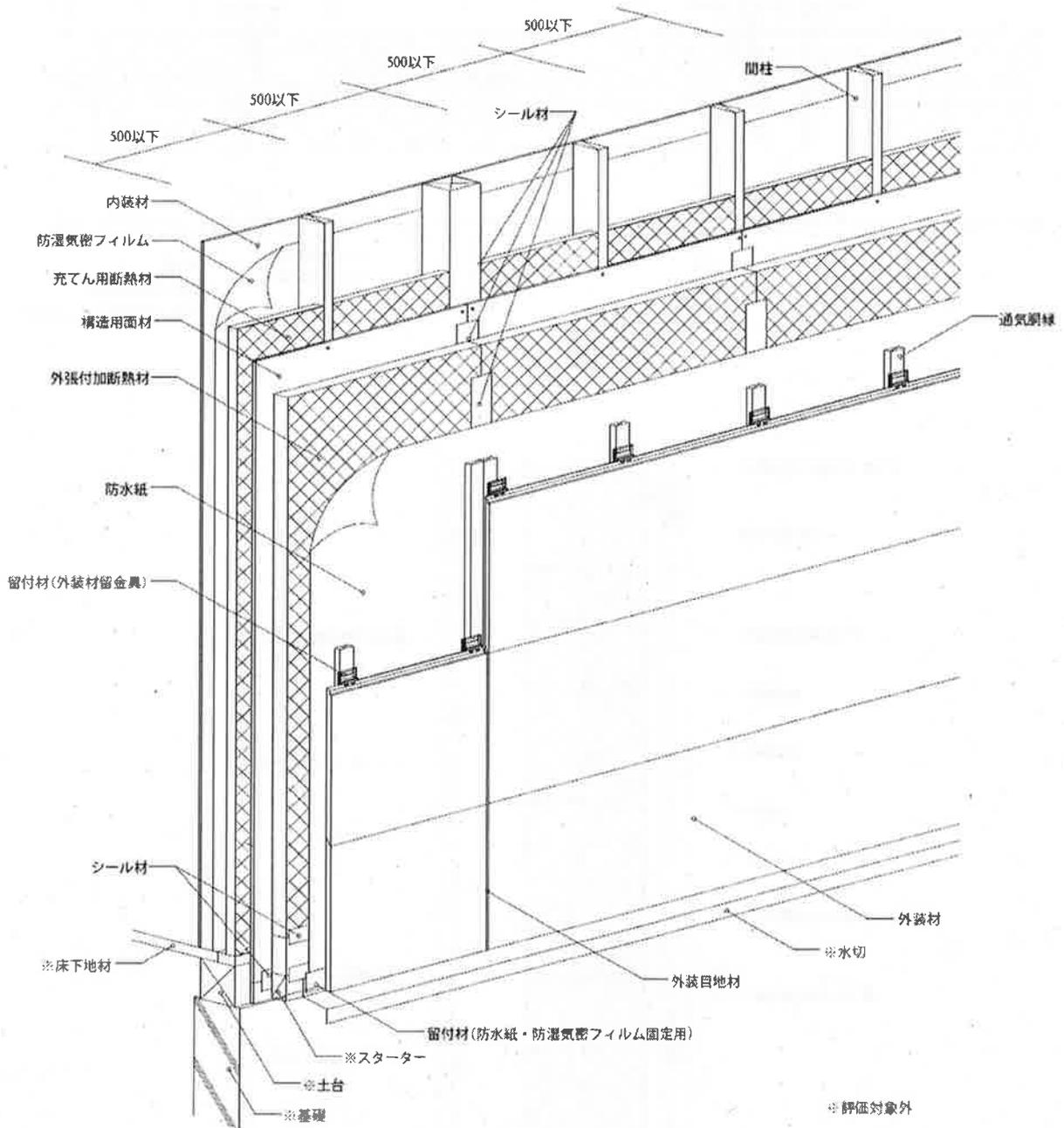


鉛直断面図

図 6 構造説明図

(4) 構造用面材：あり、内装材：大壁、断熱材：充てん+外張付加

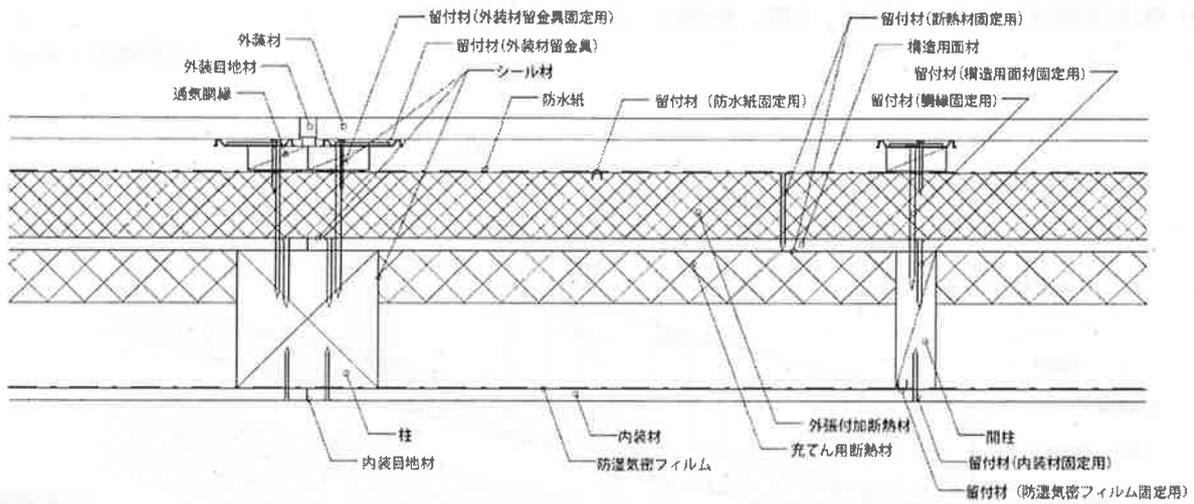
(寸法単位：mm)



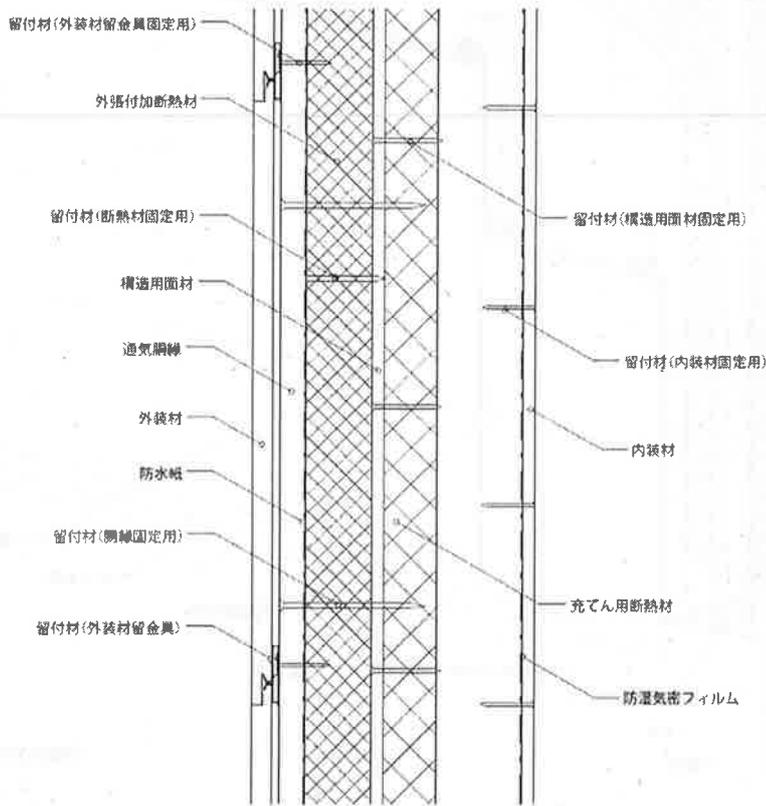
透視図

図7 構造説明図

(別添-17)



水平断面図



鉛直断面図

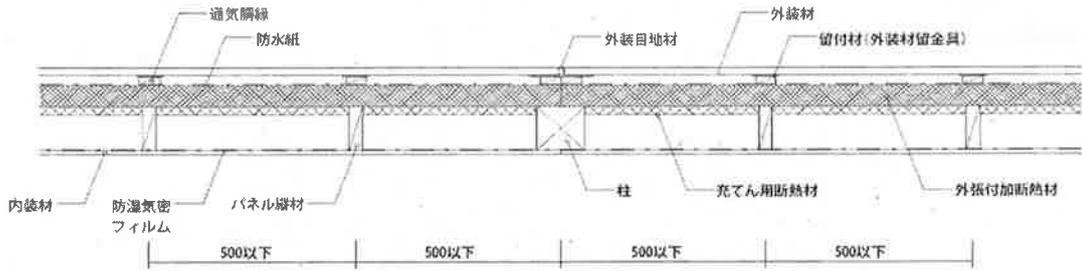
図 8 構造説明図

5. 施工方法等

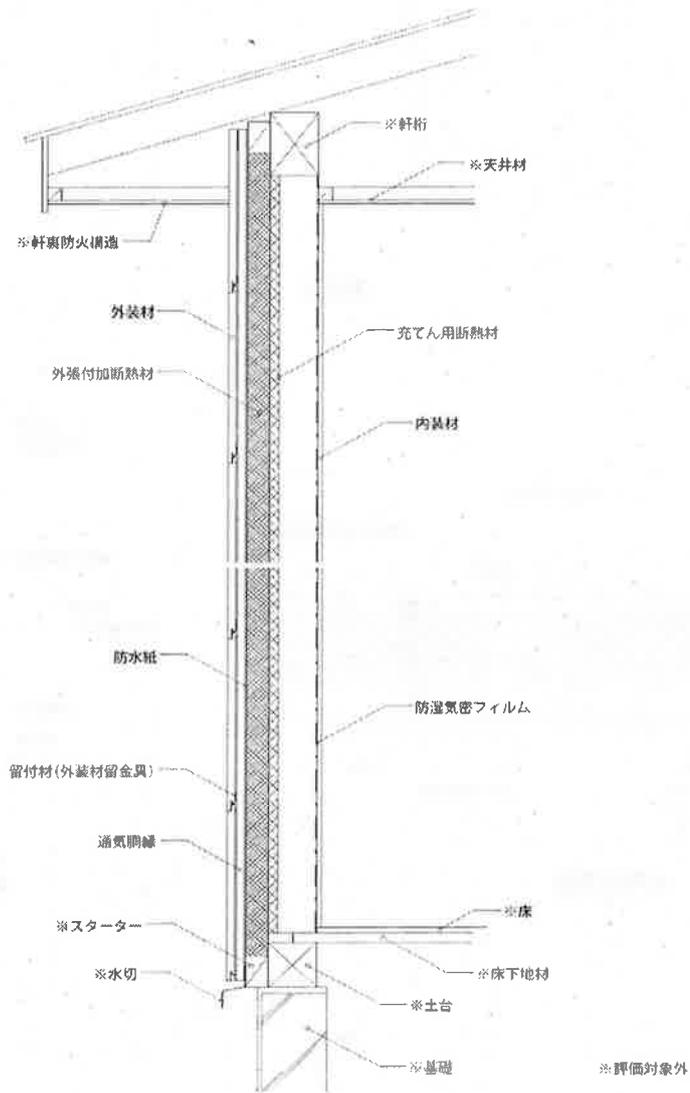
<施工図>

図9～13に施工図を示す。

(寸法単位：mm)



水平断面図



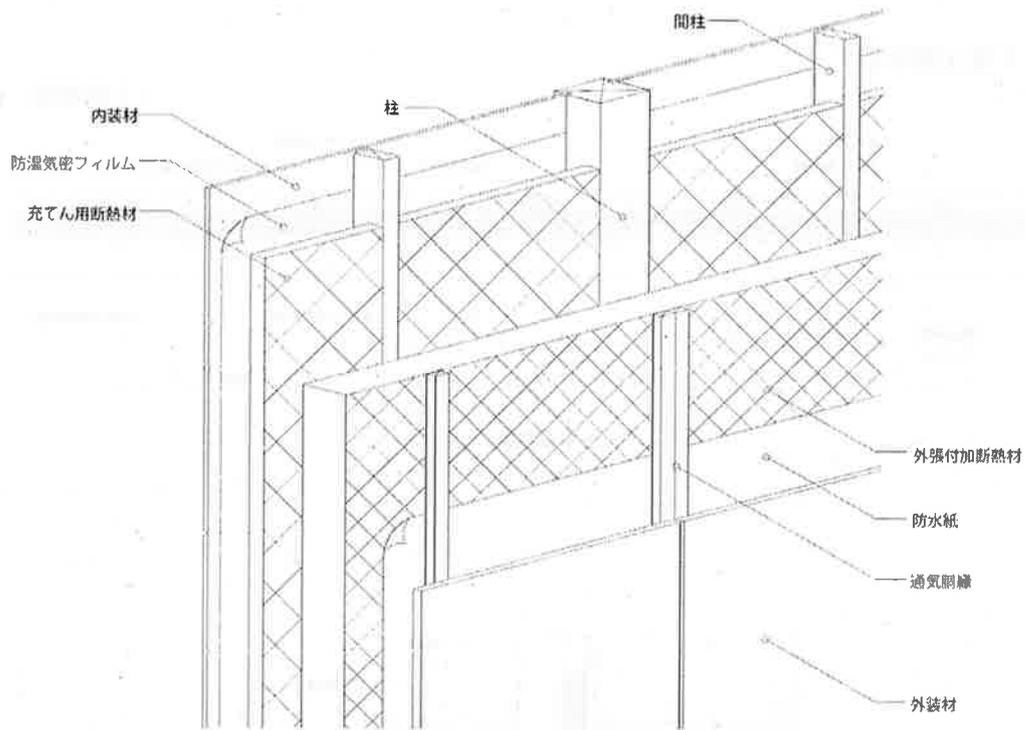
鉛直断面図

充てん+外張付加断熱の施工例

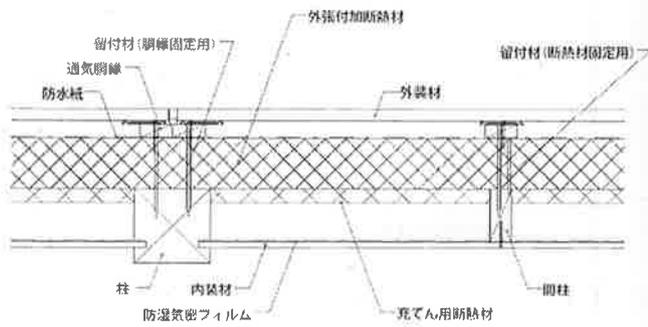
図9 施工図

(別添-19)

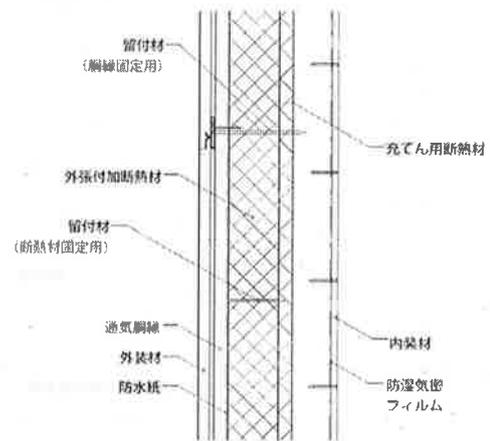
<外張付加断熱材の納まり例①：外張付加断熱材厚さ 105mm 以下>



透視図



水平断面図

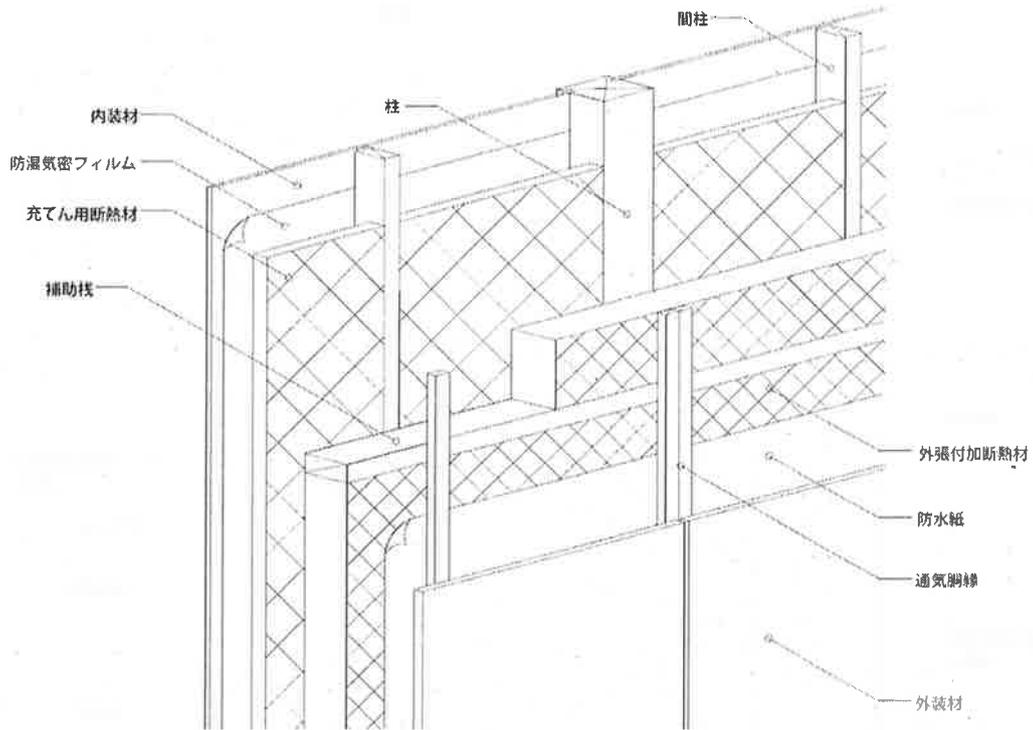


鉛直断面図

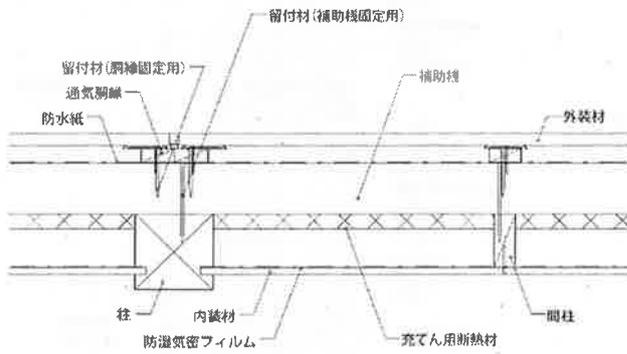
図 10 施工図

(別添-20)

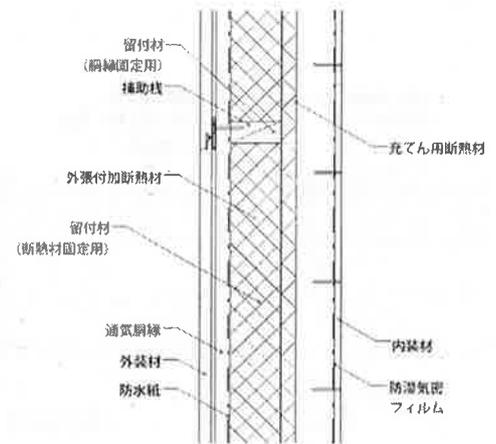
<外張付加断熱材の納まり例②：外張付加断熱材厚さ 105mm 以下>



透視図



水平断面図

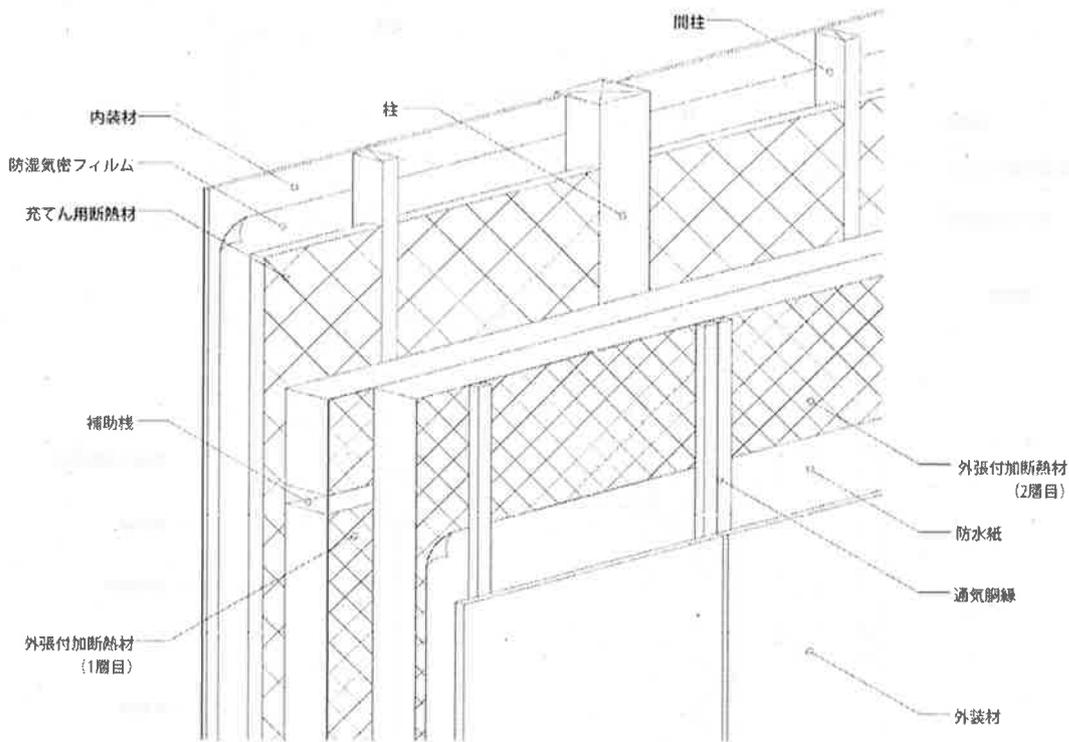


鉛直断面図

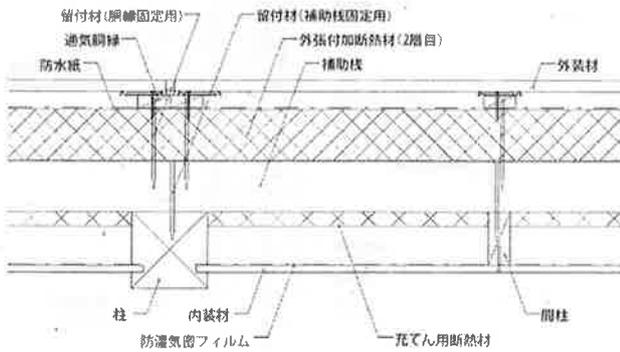
図 11 施工図

(別添-21)

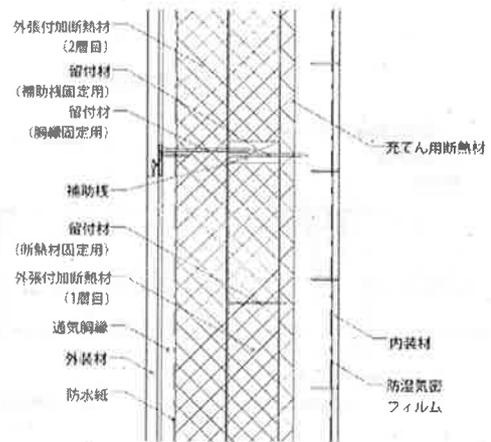
<外張付加断熱材の納まり例③：外張付加断熱材厚さ 105mm を超えて 210mm 以下>



透視図



水平断面図

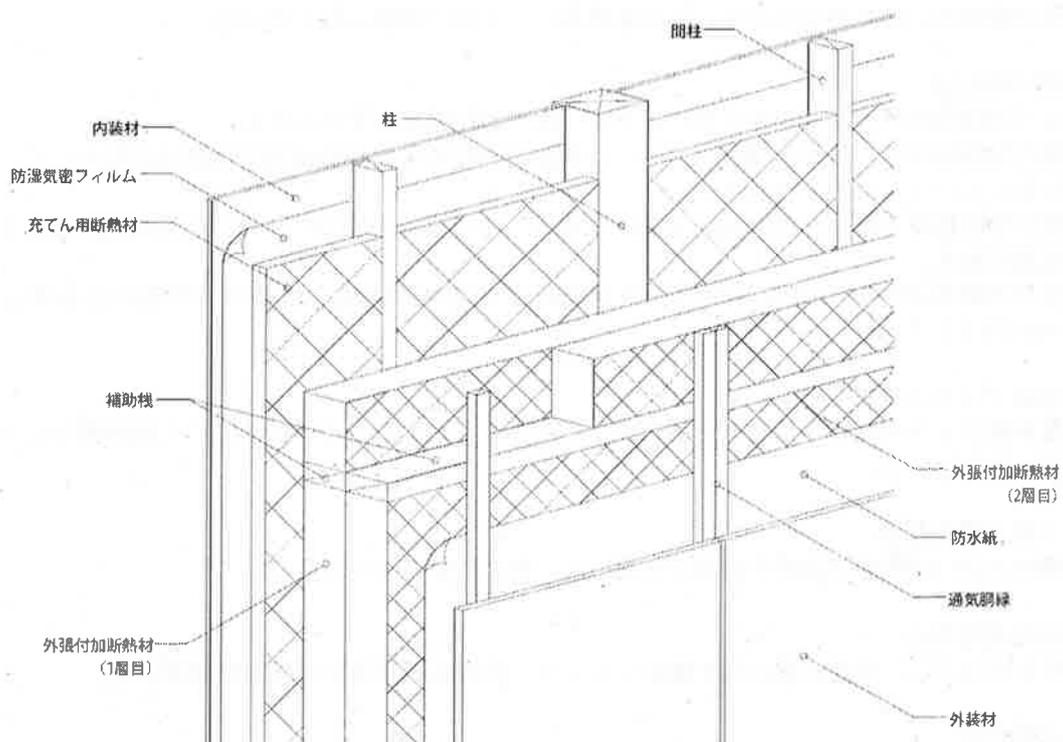


鉛直断面図

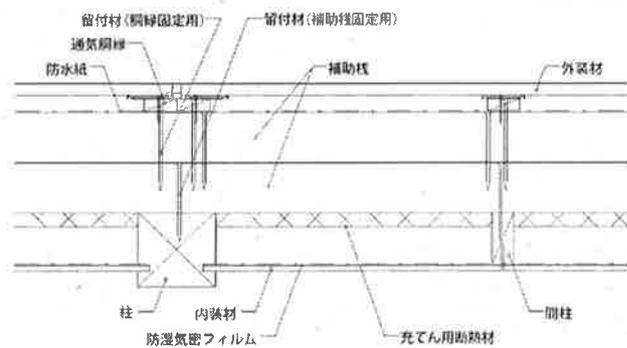
図 12 施工図

(別添-22)

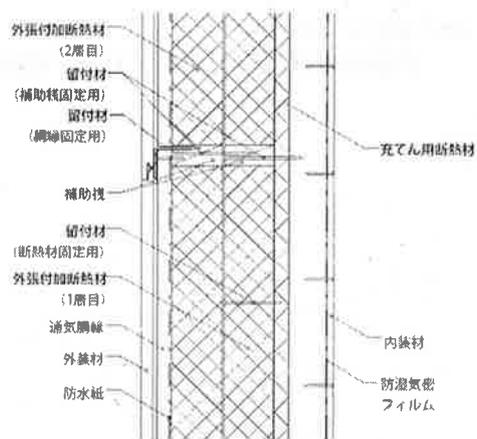
<外張付加断熱材の納まり例④：外張付加断熱材厚さ 105mm を超えて 210mm 以下>



透視図



水平断面図



鉛直断面図

図 13 施工図

<施工手順>

(1)下地組等

柱及び間柱は、反り曲がりのないものを使用し、土台に垂直に取り付ける。

(2)断熱材の取付け

充てん用断熱材は、隙間が生じないように、柱・間柱間等に充てんする。

外張付加断熱材は、柱及び間柱、あるいは構造用面材の上に断熱材固定用留付材を用いて、隙間が生じないように取り付ける。

外張付加断熱材の厚さが 105mm を超える場合、下地胴縁等を用いて外装材支持力が低下しない処置を施す。

外張付加断熱材を施工する場合は、下地胴縁及び通気胴縁固定用留付材の埋め込み深さを 40mm 以上とする。

(3)防湿気密フィルムを張る場合

防湿気密フィルム固定用留付材を用いて、たるみやしわのないように、充てん用断熱材より室内側に取り付ける。

(4)シール材を貼る場合

断熱材あるいは構造用面材の目地の上部から、剥がれないように貼る。

(5)防水紙を張る場合

横張を原則とし、所定の重ね代を確保した上で、防水紙固定用留付材で仮固定する。

(6)胴縁の取付け

断熱材の上に、胴縁固定用留付材を用いて取り付ける。

(7)外装材の取付け

目地にずれが生じないように、外装材留金具、外装材留金具留付材を用いて取り付ける。

(8)内装材の取付け

内装材用留付材を用い、柱及び間柱等に取り付ける。